

臨時休業に関する緊急連絡【4月14日版】

1 学校からの連絡事項

(1) 臨時休業について

愛知県教育委員会から新型コロナウイルス感染症拡大防止に係る臨時休業の措置についての通知により、4月7日（火）から4月19日（日）までを臨時休業としていましたが、本日、愛知県緊急事態宣言が発出されたことを踏まえ、下記のとおり対応することとします。

臨時休業の期間を5月6日（水）までとします。

ただし、今後の県内の感染状況等を踏まえ変更する場合があります。

(2) 登校日について

「緊急事態宣言」が出されている現在の状況から、5月7日予定の学校再開までは登校日は設定しません。（緊急に設定する必要がある場合は別途連絡します。）

そのため、課題や連絡等の配付予定であった物を4月20日（月）に学校から各家庭に郵便で発送します。確認してください。

本来なら皆さんに登校してもらい様子も知りたいのですが、「緊急事態宣言」の趣旨と安全面を考えました。理解と協力をお願いします。

(3) その他（変更なし）

ア 臨時休業中の部活動等については、自粛となります。4月6日付けで高等学校体育連盟から通知があり、愛知県高等学校総合体育大会及び支部予選会は当分の間延期されることになりました。

イ 不要不急の外出は控えてください。

ウ 臨時休業中は引き続き毎日（土日や休日は除く）きずなネット及びHPで連絡を発信しますので、確認してください。

2 各学年からの連絡

(1) 第2学年「学年だより」について（次ページ）

3 ハンカチマスクの簡単な作り方を紹介します

<http://nlab.itmedia.co.jp/nl/articles/2003/04/news115.html>

コロナウイルス感染症蔓延で、休校が続く。新学期が始まったというのに、校内はがらんとして、さみしい限りだ。変わりなく過ごしているだろうか。
HP上でもどかしいが、学年団からのメッセージである。

(1) 生活のリズムは維持できているか

登校しなくてはいけない、という縛りもなく、起床時間も就寝時間も食事でもだらめ、などという生活になっていないだろうか。健康維持の観点からも、登校再開時に学校生活不適應に陥らないためにも、リズムを刻んだ日々を。

(2) こんなときだけ(だから)先をみこした学びを

昨年度末のマイナビ講演会で「アイデアの泉」の大切さ、「変化が速く、先行きが不透明」な時代を生きていくのだ、という話をされたことを覚えているだろう。そこで・・・

- ① アイデアの泉は、一朝一夕で作れる訳ではない。地道な蓄積が、結果的に源泉となっていく。最先端を追うこともいいが、あえて古典といわれる名画、名曲、名作に触れよう。
- ② 目まぐるしく環境が変化していくからこそ、不変、不動な、確固たる芯を自分の中に作ろう。今やっている勉強が何の役に立つのだろう、とぼやいているかもしれないが、勉強は、未来の自分に対する投資だ。今その価値がわからないものが、将来の自分の財産となる。

大学入試が変わるといっても、out put (出力) の仕方を変化させるだけであり、in put (入力) しなくてはいけないことに変わりはない。巷間色々な物言いが流れるが、あたふた、じたばたせず「地味」な勉強を続けよう。

(3) スマホに負けず

時間がたっぷりあるのをいいことに、スマホにどっぷりになっていないだろうか。たまには電源を切ろう。課題をこなしたら、読書でもしてみよう(図書館に借りにおいでと言えないのが残念だが)。心静かに活字を追い、想像力を巡らせるという生活をしてみないかね。



(4) 節度ある振る舞いを

自分やご家族の健康・安全を考え、休校の趣旨を理解して慎みある生活を送っていることと思う。併せて、自分が感染源となりうるという想像力をもって、友人たちと遊びまわるなどの軽率な行動もとっていないと信じている。アナタも社会の一員である。社会全体が混乱の中、ネット上では不愉快で情けない事態も起きている。鬱積したストレスのはけ口なのか、恐怖に負けたパニックなのか。感染源とされる人々を晒しものにしてみたり、根拠の希薄な、あるいは情報源の不明な噂を拡散してしまったり、人間の弱い部分をみて悲しい限りだ。決してそのようなことに加担しない、強い心をもってほしい。
こんなときだからこそ、寛容な気持ちと、お互い様精神、他者に対する敬意をもとう。こんなときこそね。

なかなか先が見えず、不安も多いだろうし、気分も晴れやかにはなりにくい、混乱の足をすくわれることなく、緊張感を持ちながらも、ストレスにつぶされないよう、日々の生活を送ろう。一日も早い通常生活の再開を願いつつ。